

公衆無線LAN（Wi-Fi）の 安全な利用について

外出先でインターネットをつなげたい時に、公衆無線LAN（Wi-Fi）を利用する人は多いと思いますが、不特定多数の人が利用する公衆無線LANの利用には危険性があることをきちんと理解して利用しましょう。

公衆無線LANってどんな危険性があるの？



● 盗聴・のぞき見

通信内容が暗号化されていないと、利用者が閲覧しているサイトのURLや履歴、メールの内容などを、同じ公衆無線LANに接続している第三者が簡単に取得できます。

● 不正アクセス・ウイルス感染

悪意ある人物がのぞき見などを目的として作成した「なりすましアクセスポイント」に接続してしまうと、端末に侵入されてウイルスに感染させられたり、個人情報抜き取られてしまう可能性があります。

公衆無線LANを安全に利用するには…

● 暗号化されていないものは使わない

Wi-Fiの設定画面を開いたときに、アイコンに鍵がついているものが暗号化されていることを表しているため、鍵がついているものを利用するようにする。

● ログインが必要なページにアクセスしない

パスワードを盗まれる可能性があるため、ID・パスワードの入力が必要なネット利用は避ける。

● HTTPS化されていないURLの利用は避ける

「https」で始まるサイトへのアクセスは通信が暗号化されるため、ブラウザを使用する際は、URLが「https」で始まるサイトのみアクセスし、「http」で始まるサイトの利用は避ける。

● 個人情報を含むアプリを使わない

個人情報を抜かれる可能性があるため、個人情報を含むアプリは使用しない。

● Wi-Fiに自動接続する設定にはしない

なりすましアクセスポイントに勝手に接続しないよう、自動接続はOFFにし、Wi-Fiを利用するときのみ接続をONにする。



鍵がついているものを利用しようっと！



セキュリティレベルの低い公衆無線LANは、悪意のある攻撃者から狙われやすいので、被害を避けるため、必要以上に利用することは控えましょう。